

**\* 昭和9年5月発行の日本天文学会会員名簿収蔵**

アーカイブ室新聞第18号「井上四郎資料1 初代東京天文台長寺尾寿の記念行事の集合写真」(2008年6月9日)、第22号「先の記念写真は寺尾寿教授在職満25年祝賀会とわかる」(2008年6月13日)という記事を書いた。この記事は表題にあるように初代東京天文台長であった、また日本天文学会創始者の一人でもあった寺尾寿の東京大学教授在職満25年祝賀会の記念写真を発見して書いたものである。この写真にはこの祝賀会に出席した153人中135人の方々のお名前が記されていて大変貴重な史料であった。

この2つのアーカイブ室新聞を読んだ方から、その記念写真に写っているNo.7の武藤鉄吉は自分の祖父であり、明治3年生まれで当時39歳であった、寺尾寿達が創立した物理学校に学び、数学専門の私塾を経営されたなどの情報を添えたメールを戴いた。情報のお礼のメールを送ったところ、当時の日本天文学会の名簿があるというので、ぜひお譲りいただるか、見せていただきたいとお願いしたところ、残念ながら祝賀会が開かれた明治42年当時のものではなく昭和9年の名簿(写真1)であったが、やはり貴重な史料であるのでお譲りいただいた。

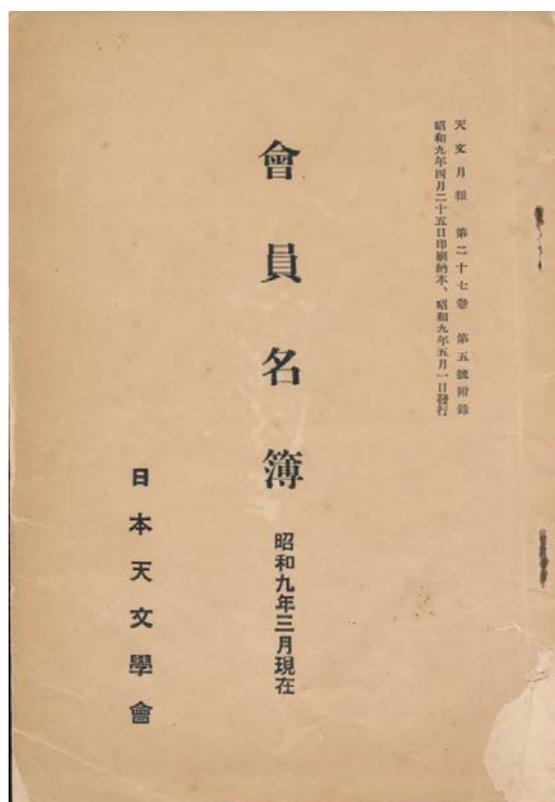


写真1 昭和9年3月の天文学会名簿

筆者が日本天文学会の理事をしていた昭和48年頃の会員種別と同じで、終身会員、特別会員、通常会員となっている。昭和48年にはこのほかに賛助会員があった。

終身会員には、蘆野敬三郎、石井重雄、上野孜吉、小野澄之助、神田茂、木村栄、菊地清治、窪川一雄、熊田儀助、佐野理八、清水清蔵、早乙女清房、高嶺俊夫、竹内端三、竹田和信、柄澤正義、辻光之助、土橋八千太郎、寺田勢造、能任理佐久、野附誠夫、橋元昌矣、平山信、平山清次、福見尚文、松岡健彦、水野良平、宮澤芳重、宮地政司、山下吉三郎、吉江琢兒の31人の諸氏が名前を連ねている。

特別会員には、秋山薫、秋吉利雄、荒木俊馬、有田邦雄、井上初蔵、五十嵐建治、伊藤徳之助、射場保昭、猪狩豊一、猪間収三郎、石井虎秋、石川成章、石谷傳市郎、糸雅俊三、今村明恒、上田譲、氏家謙曹、梅木豊吉、小川清彦、小倉伸吉、小野有一、大石和三郎、大谷亮吉、大塚寛治、大脇恒次、太田代唯六、岡田武松、岡村秀二郎、奥山清作、香川松太郎、狩野亨吉、梶原貞三郎、柏木好三郎、鏑木政岐、川上眞幸、川北清、川畑幸夫、河合章二郎、百済教猷、國枝元治、桑木或雄、小早川常雄、五藤斉三、鴻巣要一郎、佐藤敬三、雑賀修二郎、坂元左馬太、志田順、篠原武庸、新城新蔵、須永奥平、菅 勇、關口鯉吉、曾禰 武、田代庄三郎、田代實、田中朝夫、田中務、田中館愛橘、多田元一、高木貞治、高木與兵衛、竹屋金太郎、谷本誠、沈 璿、塚本裕四郎、築地宣雄、坪井九馬三、寺田寅彦、戸田光潤、富田春重、中野三郎、中村茂守、中村清二、長岡半太郎、並河兼三、西岡永太郎、野上良蔵、萩原雄祐、服部玄三、服部忠彦、濱田眞名二、林 鶴一、原 十太、原田茂、平田徳太郎、藤田良雄、藤原咲平、降矢斧司、堀 懐次、堀 鎮夫、堀場定蔵、本田親二、前原寅吉、松浦 陞、見元 了、溝口達磨、武藤鐵吉、山崎正光、山本一清、吉田玄馬、吉田米次郎、若林鶴三郎、渡邊 襄の104人。

この中には、ご高名な方々も数多く見受けられる。御存命の方もおられる。寺田寅彦が載っているページが写真2である。名簿を提供された方も残念がっておられたが、寺尾寿の名前はすでにない。

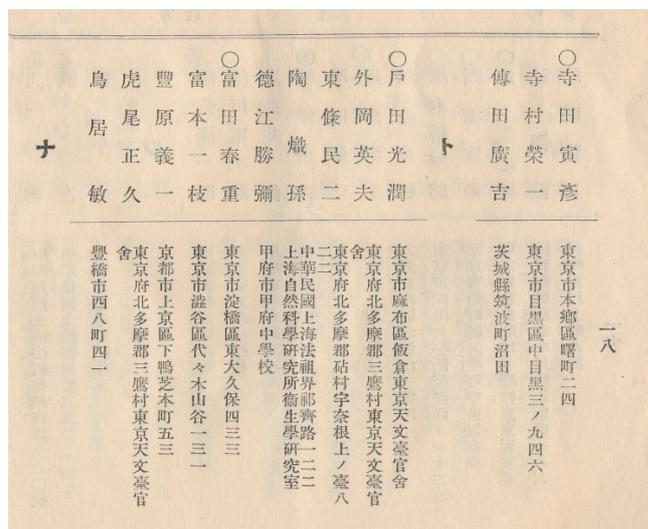


写真3 寺田寅彦の名がある場所

また、長らく大塚奨学金として内地留学制度を担って来た資金を提供された大塚寛治氏の名前もある。この大塚奨学金は、筆者が理事を務めていた頃、他の資金と合わせて内地留学奨学金と名前を変えた。通常会員は 786 人が載っている。このなかには奥田豊三、下保茂、木邊成麿、五味一明、斎藤国治、清水彊、島村福太郎、鈴木敬信、千場達、虎尾正久、長澤進午、野尻包影、一柳寿一、広瀬秀雄、二日市金作、古畑正秋、宮本正太郎、村上忠敬、吉田正太郎、渡邊敏夫など日本天文学会会長を務められた方々、また他に多方面で活躍された方々の名前も見える。アーカイブ室新聞に何度も登場した井上四郎氏は昭和7年に東京天文台を辞められており、この名簿には名前がない。

写真 3 に萩原雄祐、橋元昌矣、野尻包影、野附誠夫等の名前の見えるページを載せておく。

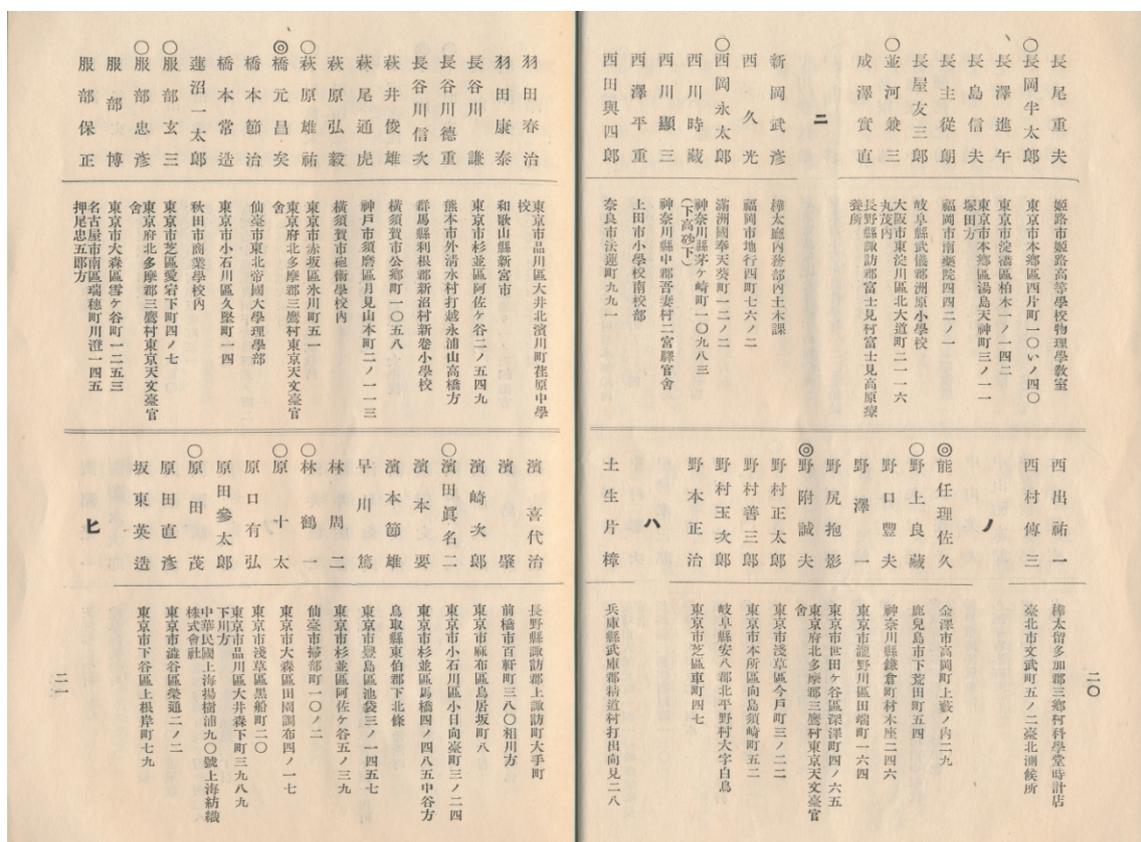


写真 3 萩原雄祐、野尻包影等の名前のあるページ

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp